科目名	ビジネススキル2					年度	2025			
英語科目名	Business skills 2						学期	後期		
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種 🖽 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱 🛱		日本スポー チ4	ポーツ協会公認テニスコー		

【科目の目的】

ビジネスマナーの理解を深め、ビジネス能力を深るとともに、就職につながる知識など、社会に出るための準備を行い、人間力を高める。 また、" 将来の自分 " から逆算をして、自信のキャリアデザインや企業研究なども行っていきます。

【科目の概要】

社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。

【到達目標】

- A ビジネスマナーの理解
- B 業界・企業研究
- C 自己分析

【授業の注意点】

学生間、教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。社会の動きなどを概説しますが、自身でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えましょう。また授業時数の4分の3以上出席しない者は修了することができません。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	ブリック レベル5 レベル4		レベル3	レベル2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	十分に意味を理解している		概ね、理解している		少し理解している		
到達目標 B	5 社以上を調べ、業界・企業について 十分に理解できた		3 社以上を調べ、業 界・企業について 理解できた		1社以上を調べ、 業界・企業につい て理解できた		
到達目標 C	自己分析を行い 十分に分析できた		自己分析を行い 分析できた		自己分析を行い 分析できたが、 理解が深まって いない		

【教科書】

必要に応じて適宜資料を配布します

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名 英語表記			ビジネススキル2					2025	
		Business skills 2					後	期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容 到達目標=修得するスキル				評価方法		
1	1 // to Fr. / II	JSP0資格について知識	1 業界理解		求められるスキル(資格)を理解する				
1 資格取得	を深める	2 目標設定		スキル(資格)を取得するための目標を設定する	2				
	2 ビジネスマナー①		1 メール		ビジネスメールを理解し作成することができる				
2		正しい言葉遣いを理解 する	2 対面(社内) 状況に応じた言葉遣いを理解する				2		
		3 対面(社外) 状況に応じた言葉遣いを理解する							
		社会保障について理解			社会保障はどの様な仕組か理解する	会保障はどの様な仕組か理解する			
3 ビジネスマナー②	在芸体障に りい (理解 する	2 国保と社保の違い 違いを踏まえどの様な仕組みか理解する				2			
		3 税金とは		税金とはどの様な仕組か理解する					
		自己の収入と 支出に	己の収入と 支出に 収入とは 収入について理解する						
4 ビジネスマナー③	ついて 理解すること ができる	2 支出とは 支出について理解する 3 金銭管理 金銭管理について理解する				2			
		N- (G B			金銭管理について理解する			L	
5	業界・企業研究①	業界や企業について調 1 業界・企業研究 名業界で必要な要素や求めらる スキル・人間力等を知り、自分で調べられるようになる				2			
6	業界・企業研究②	業界や企業について調 べて知識を増やす 1 業界・企業研究 名業界で必要な要素や求めらる スキル・人間力等を知り、 自分で調べられるようになる				2			
7	業界・企業研究③	業界や企業について調 べて知識を増やす					2		
8	業界・企業研究から自分の将来を考える	業界・企業研究から自 分の将来を考える					2		
			1 自己分析とは 将来に向けて、自己分析の必要性を知り、						
9 自己分析①	自己分析の必要性	白つ油 ウレー 海 ケー・ファー・ファー・フ				2			
			3 自己価値	を知る	過去から現在までを振り返り自己価値を知る	でを振り返り自己価値を知る			
10	自己分析②	今までの自分を分析する	1 自己価値	を知る	過去から現在までを振り返り自己価値を知る				
11	自己分析③	今までの自分を分析する	1 強みと弱。	み知る	マンダラチャートで自身の強みと弱みを知る				
12	自己分析④	今までの自分を分析する	1 強みと弱。	み知る	マンダラチャートで自身の強みと弱みを知る				
			1 履歴書とは 履歴書はどの様なモノか理解する				l		
13 履歴書作成①	作成① 作成の基本を知る	作成の基本を知る 2 自己表現 自己価値を整理して書き出すことができる				2			
		3 強みと弱み 強みと弱みを整理して書き出すことができる						L	
		書作成② 下書き	1 経歴 誤字脱字のない経歴欄を作成することができる						
14 履歴書作成②	履歴書作成②		2 自己表現		自己価値をまとめて文章化することができる	ა ა			
			み	強みと弱みまとめて文章化することができる					
15	履歴書作品の			自己価値を誤字脱字のない文章にすることができる		2			
15 履歴書作成③	旧百百〇	2 強みと弱。	— <u>—</u> み	強みと弱みを誤字脱字のない文章にすることができ	<u></u> る				

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等